

試験依頼番号：21D-BT-211-4

試 験 検 査 報 告 書

試験依頼者： 株式会社リバースジャパン
検 体： 本報告書中に記載
試験項目： 消臭試験
試験責任者： 李 憲俊

平成21年10月2日当センターに提供された検体について行った試験結果は次のとおりです。

平成21年10月15日

衛生微生物研究センター

〒125-0062 東京都葛飾区青戸4-21-6
TEL 03(5680)9831 FAX 03(5680)9832



本報告書を他への転載につきましては当センターに事前にご連絡ください。

消 臭 試 験

1. 目 的

検体の消臭効果を調べる。

2. 検体

テラパック試験体

一般流通品ポリ袋比較試験体

各 1 点

合 計

2 点

3. 対象臭気

酢酸

4. 試験方法

北川式検知管法を用いた。

対象臭気濃度を設定した匂い袋(25cm×25cm, 容量 30)に、テラパック、ポリ袋をそれぞれ 16 等分に切ったものを全量入れ、35℃で 30 分および 60 分後に北川式検知管を用いて残留濃度を測定した。また、臭気のみをコントロールとして同様に試験を行った。

消臭率は以下の計算式で算出した。

$$\text{消臭率 (\%)} = \frac{\text{対照の残留濃度} - \text{試験試料の残留濃度}}{\text{対照の残留濃度}} \times 100$$

5. 試験結果

北川式検知管法を用いて行った検体の消臭試験結果を表1に示した。

表1. 酢酸に対する消臭試験成績

試験試料	初発濃度	残留濃度 (消臭率%)	
		30 分後	60 分後
テラパック	45ppm	5ppm(88.9%)	4ppm(91.1%)
一般流通品ポリ袋	45ppm	12ppm(73.3%)	12ppm(73.3%)
コントロール	45ppm	45ppm	45ppm

以上

試験依頼番号：21D-BT-211-3

試験検査報告書

試験依頼者： 株式会社リバースジャパン
検 体： 本報告書中に記載
試験項目： 消臭試験
試験責任者： 李 憲俊

平成21年10月2日当センターに提供された検体について行った試験結果は次のとおりです。

平成21年10月15日

衛生微生物研究センター

〒125-0062 東京都葛飾区青戸4-21-6
TEL 03(5680)9831 FAX 03(5680)9832



本報告書を他への転載につきましては当センターに事前にご連絡ください。

消 臭 試 験

1. 目 的

検体の消臭効果を調べる。

2. 検体

テラパック試験体

一般流通品ポリ袋比較試験体 各 1 点

合 計 2 点

3. 対象臭気

アンモニア

4. 試験方法

北川式検知管法を用いた。

対象臭気濃度を設定した匂い袋(25cm×25cm, 容量 30)に、テラパック、ポリ袋をそれぞれ 16 等分に切ったものを全量入れ、35℃で 30 分および 60 分後に北川式検知管を用いて残留濃度を測定した。また、臭気のみをコントロールとして同様に試験を行った。

消臭率は以下の計算式で算出した。

$$\text{消臭率 (\%)} = \frac{\text{対照の残留濃度} - \text{試験試料の残留濃度}}{\text{対照の残留濃度}} \times 100$$

5. 試験結果

北川式検知管法を用いて行った検体の消臭試験結果を表1に示した。

表1. アンモニアに対する消臭試験成績

試験試料	初発濃度	残留濃度 (消臭率%)	
		30 分後	60 分後
テラパック	160ppm	60ppm (62.5%)	60ppm (62.5%)
一般流通品ポリ袋	160ppm	120ppm (25.0%)	100ppm (37.5%)
コントロール	160ppm	160ppm	160ppm

以上